

《担当者名》○竹生礼子 [take-r@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
川添恵理子 [e-kawa@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

療養上複雑で多様な課題を持つ療養者・家族に対する、倫理的判断・臨床的判断を統合した問題解決能力を養うための理論を学ぶとともに、事例を用いて、複雑で多様な課題を持つ療養者・家族に対する専門性の高い看護ケア、課題解決方法を検討する。

【学修目標】

- 1) 療養上複雑で多様な課題を持つ在宅療養者・家族を支援するために有用な情報収集・情報整理の枠組みや課題解決の理論を用い、臨床的判断・倫理的判断を統合した問題解決方法が説明できる。
- 2) 事例を用いて、療養上複雑で多様な課題を持つ療養者・家族への専門性の高い看護ケア、課題解決方法について提案することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	療養者を取り巻く現状	統計資料、文献より在宅療養者、家族等の状況をとらえる 教員による講義	竹生 川添
2	複雑で多様な課題を持つ療養者(1)	複雑で多様な課題をもつ在宅療養者～精神疾患をもつ療養者と家族の事例の討議 教員と学生による体験に基づいた討議	竹生 川添
3	複雑で多様な課題をもつ療養者(2)	複雑で多様な課題をもつ療養者を支援するうえで求められる倫理的判断・臨床的判断 現場で遭遇する複雑で困難な課題の例 特別講師による事例の紹介と学生による討議	竹生 川添 村本好孝 (特別講師)
4	複雑で困難な課題解決に向けた理論と展開(1)	情報収集の枠組みと課題解決の理論の理解 臨床での倫理的課題の検討方法と「臨床倫理検討シート(清水)」の活用 複雑で多様な課題をもつ在宅療養者・家族の支援に活用できる理論「臨床倫理検討(清水)」について特別講師よりレクチャーを受け、重要点・疑問点を討議	竹生 川添 村本好孝 (特別講師)
5	複雑で困難な課題解決に向けた理論と展開(2)	複雑で困難な課題の解決過程(1) 事例の選択と理解(情報収集とアセスメント) ・複雑で困難な課題をもつ模擬事例を用いて課題の解決過程を体験する 教員が提示した模擬事例から1事例を選択し、情報を整理する 倫理的ジレンマを抱えた模擬事例 ・療養者の現在の感情・気持ちがかつての理性的判断と違う ・療養者の希望と医療者が考える必要性が一致しない ・療養者の意思を尊重することと安全を確保することが対立する ・療養者本人の冷静な意思が確認できない	竹生 川添 村本好孝 (特別講師)
6	複雑で困難な課題解決に向けた理論と展開(3)	複雑で困難な課題の解決過程(2) 選択した模擬事例について、学生が倫理的判断・臨床的判断を統合した課題解決について資料(臨床倫理検討シート)を作成し、発表する。	竹生 川添 村本好孝 (特別講師)

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	複雑で困難な課題解決に向けた理論と展開(4)	複雑で困難な課題の解決過程(3) 選択した模擬事例について、学生が倫理的判断・臨床的判断を統合した課題解決についての発表を踏まえて討議する。	竹生 川添
8	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(1)	倫理的判断を要する実践事例の選択 自身が実践において体験した(体験している)事例のうち、複雑で困難な課題をもち倫理的判断・臨床的判断を統合した課題解決を要する事例を選択する 学生・教員間で討議する。	竹生 川添
9	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(2)	情報の整理とアセスメント 学生が実際に体験した倫理的判断を要する複雑で困難な課題をもつ事例について、情報・アセスメントを臨床倫理検討シートにまとめる。 まとめた内容を発表する。学生・教員で討議する。	竹生 川添
10	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(3)	課題の明確化 学生が実際に体験した複雑で困難な課題をもつ事例について、明確にした課題(分岐点)を臨床倫理検討シートにまとめる。 まとめた内容を発表する。学生・教員で討議する。	竹生 川添
11	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(4)	目標・支援の方向性、課題の解決方法の検討 学生が実際に体験した複雑で困難な課題をもつ事例について、目標・援助の方向性、課題解決の選択肢を臨床倫理検討シートにまとめる。 まとめた内容を発表する。学生・教員で討議する。	村本好孝 (特別講師) 竹生 川添
12	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(5)	援助計画の立案 学生が実際に体験した複雑で困難な課題をもつ事例について、目標・援助の方向性、課題解決の選択肢を臨床倫理検討シートにまとめる。 まとめた内容を発表する。学生・教員で討議する。	村本好孝 (特別講師) 竹生 川添
13	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(6)	援助の評価 学生が実際に体験した複雑で困難な課題をもつ事例について、実際に取り組んだ援助と援助の評価を臨床倫理検討シートにまとめる。 まとめた内容を発表する。学生・教員で討議する。	竹生 川添
14	複雑で困難な課題をもつ実践事例の取り組み(7)	今後の援助の方向性の検討 展開事例の今後の支援の方向性について、学生・教員で討議する。	竹生 川添
15	複雑で困難な課題をもつ在宅療養者・家族の支援の重要ポイント	複雑で困難な課題をもつ実践事例の展開の振り返り 今後の展望 複雑で困難な課題をもつ療養者・家族を支援するうえで重要なポイントについて討議する。	竹生 川添

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

学習課題の達成状況(60%)、参加意欲・討議への参加(40%)

【教科書】

石垣靖子・清水哲郎：臨床倫理ベーシックレッスン．身近な事例から倫理的問題を学ぶ．日本看護協会出版会．2012．

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

テーマに沿って事前に自身の実践事例についてまとめておく。